

氏名(本籍)	きた ざわ よし つく 北 沢 良 継 (長 野 県)
学位の種類	博 士 (社会経済)
学位記番号	博 乙 第 1802 号
学位授与年月日	平成 14 年 3 月 25 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 2 項該当
審査研究科	社会工学研究科
学位論文題目	Essays on Econometric Analysis of Financial Panel Date (財務パネルデータの計量経済学的分析)
主査	筑波大学教授 P h . D . (応用経済学) 黒 田 諠
副査	筑波大学教授 P h . D . (経済学) 太 田 誠
副査	筑波大学教授 経済学博士 星 野 靖 雄
副査	筑波大学助教授 博士 (学術) 庄 司 功
副査	筑波大学講師 P h . D . (経済学) ターンブル S . J .

論 文 の 内 容 の 要 旨

本論文では、最近開発されたパネルデータ用の計量経済学的推定技術を使って各種財務データを分析している。また、著者自身が開発したパネルデータを分析する推定量も紹介している。

第1章では、動学的パネルデータモデルを中心としてパネルデータ計量経済学の発展の歴史が述べられている。

第2章では、加法的固定効果を有する動学的パネルデータモデルの推定のための準差分変換に基づく新しい積率の提唱と、それを用いた推定量に対するモンテカルロ実験の結果の提示がなされている。この積率に基づいた推定量は著者自身が提唱した推定量である。

第3章では、Marchin and Manning (1992) によって提唱された効率賃金モデルの怠業版 (shirking version) の動学的定式化を、日本の電気機械産業に属する企業の財務パネルデータとGMM推定量を用いて推定している。そして、1985年のプラザ合意以降、日本の電気機械産業に属する企業は労働省に効率賃金を支払ったということをサポートする結果を得ている。

第4章では、多数の東京証券取引所上場銘柄の(時点数が少ない)短期間の株価リターンのパネル日次データを用いて、レバレッジ効果が推定されるかどうかを調査している。このとき、Meghir and Windmeijer (1999) によって開発された指数ARCH型モデルとGMM推定量を使っている。そして、レバレッジ効果が働いていると思われる短期の日次期間を見つけ出している。

第5章では、短期パネルデータに対する確率的ボラティリティモデルの提唱、その持続性パラメータの推定量の提唱、その推定量もモンテカルロ実験、および、東京証券取引所上場銘柄を用いた実証分析がなされている。

審 査 の 結 果 の 要 旨

北沢良継氏は、各種財務データを、パネルデータ構造の想定のもとで、最近開発されたパネルデータ用の計量経済学的技法を適用して分析を行い、新しい実証的事実を発見している。また、パネルデータに対する新しい推定技法も提示している。本論文は、パネルデータ計量経済学における最新の手法を用いた分析と新しい推定技法の開発から構成されており、著者のパネルデータ計量経済学の研究者としての高い能力を示している。ただし、今

後は、推定技法ばかりにこだわらず、もう少し経済学的観点からの分析を強めた方がよいと思われる。

本論文の第2章は専門学術雑誌であるEconomics Letters（審査制度あり）に掲載されており、本論文の第3章は専門学術雑誌であるApplied Economics Letters（審査制度あり）に掲載予定であり、そして、本論文の第4章は専門学術雑誌であるJournal of Financial Management and Analysis（審査制度あり）に掲載されており、全体としてレベルの高い学位請求論文になっている。

よって、著者は博士（社会経済）の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。